

【参考資料3】

令和8年度広島県BPO推進業務
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和8年4月30日 13時15分から16時55分まで
2	場 所	Web会議
3	出席委員	総務局行政経営部長 総務局行政管理課長 総務局DX推進課長 環境県民局学事課長 健康福祉局健康福祉総務課長
4	議 題	最優秀提案者の選定について
5	担当部署	総務局行政管理課
6	開催方法	オンライン（Zoom）
7	議事内容	<p>1 審査結果 選定委員会において、提出された企画提案書を基にプレゼンテーション審査を行い、最も評価値が高いA社を最優秀提案者として決定した。</p> <p>2 提案者 A社 TOPPAN 株式会社 広島事業所 B社 株式会社イーグリッド C社 INTLOOP 株式会社 E社 東栄汽船株式会社 F社 株式会社ATOMica</p> <p>3 各提案者の評価値 「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり</p> <p>4 提案者ごとの主な評価・選定理由 【A社】 ・本業務の目的や内容を理解しており、的確な業務の履行が期待できる。 ・次年度以降を含め、中期的な見通しも分かり易く示されており、本県の行いたいことをよく理解していた。 ・ヒアリング時における担当課への負担軽減等の配慮がなされており、円滑な業務遂行が期待できる。</p>

- ・自治体での類似実績が多数あり、安心して業務を任せることができる。
- ・他自治体の業務を実際に行っているオペレータを本県の業務にも活かせる体制となっており安心感がある。
- ・経験豊富なメンバーによるプロジェクトチームを立ち上げるなど、手厚い体制となっている。
- ・品質管理基準「安全性」としてセキュリティやBCP（サービス継続性）を設定していることや、災害に強い運用プロセスを定義するなど、セキュリティ対策がなされている。
- ・一括処理の導入までのプロセスがよく整理されている。
- ・対象業務のフローを作成したうえで試行後の業務量を算出することとされており、改善効果が高いと見込まれる業務提案が期待できる。

【B社】

- ・一括処理の試行を早く行うことで、PDCAをしっかりと回していくという点が評価できる。
- ・類似実績は、今回の本県委託業務とは少し乖離があるのではと感じた。
- ・一般的なBPO理解にとどまり、本県実態を踏まえたものとなっていない。

【C社】

- ・業務の定着化に配慮されている点は評価できるが、想定されている業務が限定的であり、庁内で横展開していくことに限界があるのではないかと感じる。
- ・コンセプトに職員の満足度を取り入れており、その考え方に共感できる。
- ・経験豊富なメンバーを要しているものの、業務の選定や試行などに十分な人数なのか少し不安を感じた。
- ・作業を月ごとにプロットしており、具体作業がイメージできている。
- ・業務効率化（工数削減）だけでなく心理的負荷を測る「2軸評価」を導入し、職員の納得感ややりがいにも配慮する独自の工夫がある。
- ・日時KPIやAI活用等、より効率的な運用のイメージが描けている。
- ・豊富な実績と、それを本県業務にどのように生かすかといったことを明確にしている。

【E社】

- ・職員インタビューを複数回実施するなど、丁寧に選定業務を進められると期待できる。
- ・有識者含め、経験豊富なスタッフをそろえ、業務実施できる体制を整えている。
- ・詳細なスケジュールを立てており、計画的な実行が期待できる。

		<ul style="list-style-type: none">・自治体におけるこれまでの業務実績から、業務の一括的な処理の試行などに課題を感じる。 <p>【F社】</p> <ul style="list-style-type: none">・県内で経済を回していくというコンセプトや、県内の複数拠点を活用した体制は評価できる。・BPR が組織に根付く仕組み作りも併せて提案されている点は評価できるが、自治体におけるこれまでの業務実績から、業務の一括的な処理の試行などに課題を感じる。・単なる外部委託の置き換えではなく、「業務効率化・雇用創出・スキル蓄積」を三位一体で実現する「県内経済循環型 BPO」を掲げている。・作業を月ごとにプロットしており、具体作業がイメージできている。・職員の人材育成にまで志向が及んでいる。
--	--	---